

# 郡山市の料金等包括委託 第一環境JVが候補者に 給水装置管理を第三者委託

システムの開発を包括委託するもので、今年中に契約を結ぶ予定。委託期間は令和7年4月からの5年間となっており、それまでにシステムの構築・試運転などを行う。

契約候補者は第一環境東北支店と郡山市管工事協同組合で構成される「郡山市水道料金等包括業務委託共同企業体」。第一環境としては、給水装置管理に関する第三者委託業務の初受託となる見込み。

郡山市では現在も料金徴収などを民間に委託しているが、次回の契約切り替えに合わせて業務範囲を拡大することし、

今年8月に公募型プロポーザルを公告した。新たに追加する給水装置管理の第三者委託では、▽窓口等受付・入力▽設計審査・検査▽指定工事業者に係る事務▽メーター

の管理・取替▽小規模貯水槽水道に係る設置者への指導・助言、台帳管理▽寄附採納関係——などの業務が対象となる。

システム開発については、令和7年4月1日の稼働開始を前提に、水道・簡易水道・下水道・農業集落排水事業に係る上下水道料金システムと給水装置台帳管理システムを構築することとされている。料金システムに関しては、スマートメーターやクラウドサービスとの連携、給水装置台帳管

理システムとの情報の一元管理などを機能水準で求めた。

プロポーザルの審査に当たっては、外部有識者を中心とした選定審議会を設置し、プレゼンテーション・ヒアリングなどを経て契約候補者を決定した。なお、審査の配点は委員1人当たり▽会社概要・実施体制等45点▽委託業務40点▽見積金額10点▽プレゼン5点——の100点満点、提案上限金額は約28億2100万円（税込）だった。